

### 立つ鳥跡を濁さず～1年間の感謝を～

令和7年度も残り約1ヶ月となりました。児童生徒は、卒業・進級へ向けラストスパートをかけ日々頑張っています。

「立つ鳥跡を濁さず」ということわざがあります。水鳥が飛び立った後の水辺は濁ることなく綺麗です。これが転じて、立ち去る者は見苦しくないようにきれいに後始末をしていくべきで、引き際は美しくあるべきだという意味です。ビジネスシーンでよく使われる言葉ですが、学校でも当てはまる場所はあります。



では、学校教育の面でこのことわざは、どのようなところに当てはまるのでしょうか？  
真っ先に思いつくのはそうじの面です。1年間お世話になった教室や机・ロッカー等をきれいにし、来年度使う下級生に気持ちよく使ってもらう。文面通り、使っていた場所はきれいにし立ち去りましょう、ということです。

しかし、「濁さず」というのは見た目の美しさも大切ですが、学校ではやはり心を「濁さず」が当てはまるのではないのでしょうか。人と人のつながりを大事にする学校教育での「立つ鳥跡を濁さず」は、お互いの心を気持ちよく（きれいに）して次へと向かいましょう。1年の節目を迎える時期に、一度区切りをつけ「1年間の感謝の気持ちを伝えましょう」という意味もあると考えます。

お世話になった地域の方々、上級生、友だち、先生、そして何よりもご家族。児童生徒には、関わってくださったすべての方々に感謝の気持ちを持って欲しいと願っています。今ある自分は、関わってくださった方々のおかげです。思いやりの心を大切に、豊かな人間性を育てていくことは、学校教育において大切なことの一つです。

「お世話になった方々に感謝の気持ちを伝える」それが「立つ鳥跡を濁さず」なのだと思います。中学1年生から3年生が協力して取り組んだり、行事の時に小学校1年生から6年生が仲良く取り組んでいた姿を見ると、素敵な児童・生徒になってきたなと感じることが出来ます。

まずはあと1ヶ月、この医王山小中学校らしさを大切に生活を送り、感謝の気持ちを持ち「跡を濁さず」卒業・進級を迎えてほしいと願っています。

**離任式** 14:15～ 3月24日(火) 小学6年生・中学3年生は離任式のみ参加になります。  
**入学式** 10:30～ 4月7日(火) 8時15分までに登校(新小2・3・4・5・6年、新中2・3年)

**小-6年生を送る会 2/18(水)** 送る会では、在校生が、劇、合奏・歌などで6年生を楽しませてくれました。どれも心温まる内容で優しかった6年生に対する感謝の気持ちが込められていました。とても感動する会となりました。



**中1-そば打ち体験 2/2(月)**



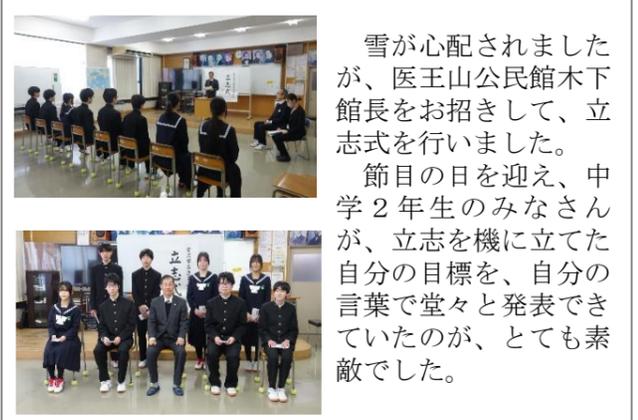
中1のそば打ち体験がありました。地元の大瀬さん、寺井さん、中井さんの指導のもと、中学1年生が心を込めてそばを打ちました。そば粉からつくるのは難しいですが、みんな手際よく上手にできました。中学2・3年生、先生方に振る舞いました。美味しく頂きました。

**小1-昔遊びをしよう 1/22(木)**



小学校1年生の生活科の授業で、昔の伝承遊びにふれる体験をしました。ゲストティーチャーに、けん玉の達人、中学校の松田先生を迎え、けん玉の技を教えてくださいました。  
1年生はみんな自分のめあてに向かって、たくさん練習しました。みごと全員めあてを達成し、けん玉の楽しさを体験しました。

**中2-立志式 2/4(水)**



雪が心配されましたが、医王山公民館木下館長をお招きして、立志式を行いました。  
節目の日を迎え、中学2年生のみなさんが、立志を機に立てた自分の目標を、自分の言葉で堂々と発表できていたのが、とても素敵でした。

**今シーズン最強寒波 1月中旬～2月**



今シーズン最強寒波が、1月21日から2月3日頃にやってきました。  
本校もやはり影響を受け、1月26日(月)は休校となりました。  
しかし、雪国で育つ医王っ子はたくましく、この雪で、雪遊びを存分に楽しんでいました。さすがです。厳しい冬を乗り越えることで、さらに春到来の喜びが増すことでしょう。